



新和小だより

第5号

令和5年8月29日発行

〒339-0027 埼玉県さいたま市岩槻区大字尾ヶ崎1252番地
電話番号 048(798)0003
Webページアドレス <https://niwa-e.saitama-city.ed.jp>

みんなでつくる
みんなの学校

自立・尊重・創造

児童数
合計 191名

「進化と不変」

校長 樋浦 康光

職員室前のへちま棚が青々と茂り、雌花には小さなふくらみが見え始めた本日、新和小学校に子どもたちの元気な歓声が戻ってきました。日焼けした笑顔、伸びた身長、元気な挨拶、どの子どもも充実した夏休みを過ごすことができました。

さて、私の夏休みは、栃木県の実家に帰省し、ゆっくりと静養させていただきました。数十年ぶりに旧友とも再会し、小学校時代の思い出話に花を咲かせました。当時は、今ほど暑くはなく、朝6時にラジオ体操に行き、そのまま近くの森でカブトムシ捕りをしていました。午後は甲子園で行われている高校野球のテレビ中継を観戦し、PL学園の桑田選手や清原選手に憧れを抱いたものでした。そのような思い出にふけりながら、目の前の光景に目を移してみますと、宇都宮市内は8月26日に開業した路面電車が試運転を行うなど街が機能的に整備され、テレビ越しの高校野球中継には、丸刈り以外の髪形でプレーする球児たちの姿がありました。街も人も時代の流れとともに変化していくものだと改めて実感しました。しかし、変わらぬものもありました。街には、小学校時代から営業し続けている餃子屋さんの味、高校野球では、仲間と共に最後の一球まであきらめずに白球を追う球児たちの汗、涙、笑顔、全力プレー。これらは、今も昔も全く同じでした。

私たちの社会や人々の考え方は、数々の困難を乗り越え、日々アップデートをし「進化」し続けています。しかし、変化に流されることなく、「不変」で大切にされているもの（こと）もあります。学校の教育活動に例えてみますと、タブレット端末等のICTを活用した授業で効率的に学力向上を目指し（進化）、集団生活や体験活動を通して、自己肯定感や相手を思いやる心など豊かな人間性はぐくむ（不変）等です。

2学期は、水泳学習、校外学習、自然の教室、修学旅行等、学校行事が目白押しとなっております。子どもたちは、たくさん行事や体験を通して、大きく成長していきます。新和小学校でも「進化」を意識し「不変」を大切にしながら、2学期も子どもたちが楽しく、安心・安全に学べるよう、教職員一丸となって教育活動に努めてまいります。保護者、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動への御支援御協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年8月4日「さいたま市子ども会議」において心を元気にする4つの言葉が決定しました。

- ここをおちつかせることば・・・「大丈夫（大丈夫?）」
- ここがほっとあんしんすることば・・・「また明日」
- ここがまえむきになることば・・・「ちょっとずつでいいよ」
- ここをはげますことば・・・「自分を信じて」

